



公理論的立場の確率

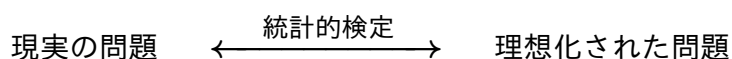
化学や物理では、ある現象を考えると、議論がしやすいように理想状態というものを考える

ref: スッキリわかる確率統計 p64~67

それと同じように、確率も理想化された状態で考えることにする

サイコロでいえば、そのサイコロの根拠（均一な材料か、完全な立方体なのか、etc.）を問うのではなく、最初から理想化されたサイコロを考えるようにする

そして、現実の問題と理想化された問題との間を統計的検定を使ってつなぐことにする



確率を理想化された数学の世界で考えるために、確率をある公理を満たすものとして定義する

確率をこのように考える立場を公理論的立場という